

エコアクション21 ～環境経営レポート～ 令和4年度



環境省
エコアクション21
認証番号：0008263

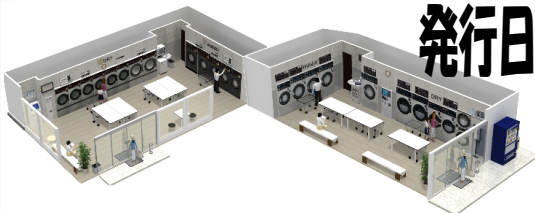


My Coin Laundry system

Miyuki

レポートの対象期間：令和4年4月～令和5年3月

発行日：令和5年6月10日



株式会社 美幸工業

組織の概要

1. 事業所名 株式会社 美幸工業

本社所在地：沼津市小諏訪926-2

コインランドリー
洗べえ：沼津市原町中1-5-7

コインランドリー
洗太：沼津市大諏訪589-5

2. 代表者氏名

代表取締役社長 竹村 俊克

3. 事業活動の内容

業務用洗濯機、業務用乾燥機の販売

コインランドリーのトータルプランニング

コインランドリー経営

4. 事業の規模

会社設立年 昭和52年9月

従業員数 9人

事業所床面積 294m²

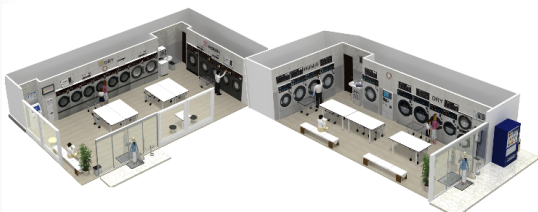
一般建設業 管工事業 静岡県知事許可(般-02) 第036385号

5. 環境管理責任者氏名 連絡先

環境管理責任者 竹村 俊克 (連絡先:055-925-6188)

6. 認証登録の範囲

全組織、全活動



株式会社 美幸工業

環境経営方針



エコアクション21
認証番号：0008263

[基本理念]

当社は業務用洗濯機、業務用乾燥機を販売する会社として地球環境を守る為に環境に配慮した製品の提供に努め、環境を意識した経営を進めることによって、社内の体質改善を図り、自然環境の保全に貢献していく企業を目指します。

[行動指針]

株式会社美幸工業は次の行動指針を定めて、継続的改善に努めてまいります。

I. 環境にやさしい製品及び資材の販売。

II. 環境負荷の低減に努めます。

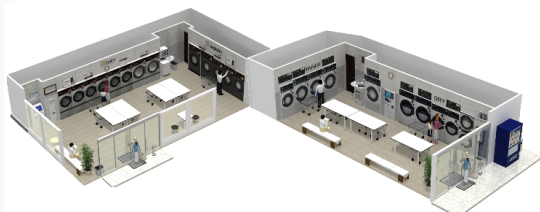
- ・省資源：廃棄物の排出量を減らし、リサイクル活動を推進します。
- ・省エネ：省エネを推奨し、エコドライブを実施することにより、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
- ・水利用量の削減に努めます。

III. 事務用品や消耗品はグリーン購入に努めていきます。

IV. 環境に関連する法規制を遵守し、責任感・信頼感のある企業を目指します。

V. 全社員に環境に関する教育を行い、「地球環境の保全」の意識を高めていくことにより、社内の体質改善を図ります。

VI. 社外においては、環境活動レポートを公表し、利害関係者とのよりよいコミュニケーションを実施します。



制定日：平成23年11月 1日

改訂日：令和 6年 2月15日

株式会社 美幸工業

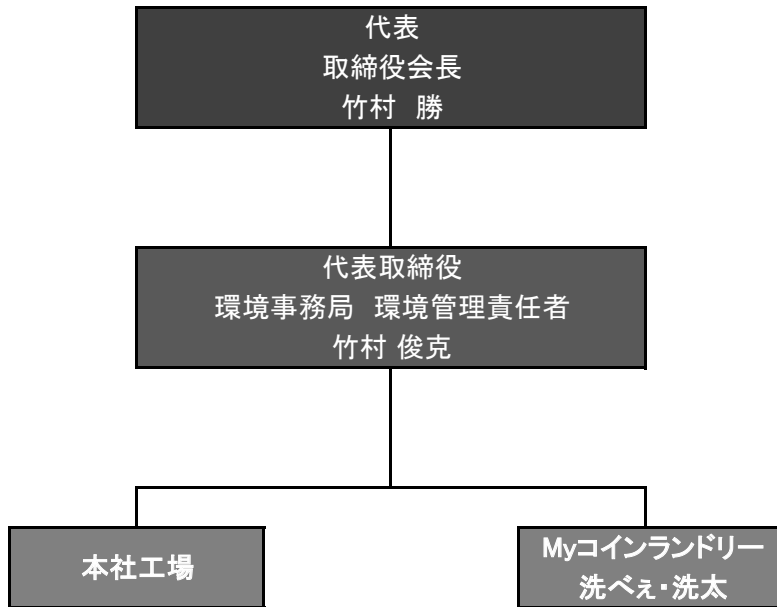
代表取締役 竹村 俊克



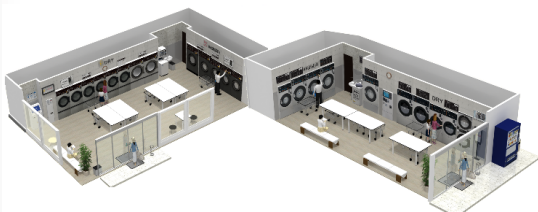
実施体制



エコアクション21
認証番号：0008263



担当	役割・責任・権限
代表 会長 竹村 勝	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21に関する代表責任者。 ・エコアクション21実施における人材、設備、費用を用意する。 ・環境管理責任者の任命を行う。 ・環境方針の制定、改訂及び全社員への周知。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施する。 ・環境マネジメントシステムの承認。
代表取締役 環境事務局 環境管理責任者 竹村 俊克	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステム全体の構築、運用、維持に関する。実施上の権限を有する。 ・代表者への報告。 ・環境マネジメントシステムの構築、実施及び運用管理。 ・エコアクション21における文章の作成。 <ul style="list-style-type: none"> ・環境目標及び環境活動計画案の作成。 ・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック。 ・取組に必要な場合の手順書案。 ・事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策の策定。 ・環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施。 ・環境活動レポートの作成。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門における環境マネジメントの実施。 ・各記録の実施。 ・問題点のチェック及び予防処置の実施。 ・緊急事態の試行及び訓練の実施。 ・環境方針の確認・理解。 ・各個人における環境マネジメントシステムの実施。



制定日： H23.11.1 代表者 竹村 勝
改訂日： R6.2.15 EA事務局 竹村 俊克

環境への負荷の自己チェック 環境経営目標



環境省
エコアクション21
認証番号：0008263

■実施体制下でのR4年度環境への負荷状況

エネルギー 使用量	項目	使用場所	使用量		CO2排出量 (kg-CO2)	割合
	電力1	本社	5,633	kWh	3,047	2.3%
	電力2	Myコインランドリー洗ベえ	25,541	kWh	13,818	10.3%
	電力3	Myコインランドリー洗太	26,125	kWh	14,134	10.5%
	ガソリン	本社使用車両	4,476	L	10,384	7.7%
	軽油	本社使用車両	7,512	L	19,381	14.4%
	液化石油ガス (LPG)	Myコインランドリー洗ベえ Myコインランドリー洗太	24,487	kg	73,460	54.7%
	合計(エネルギー)					134,224

水 使用量	使用場所	使用量		割合
	本社	74	m ³	3.2%
	Myコインランドリー洗ベえ	1,057	m ³	46.4%
	Myコインランドリー洗太	1,148	m ³	50.4%
	合計	2,279	m ³	100.0%

■環境経営目標

株式会社 美幸工業 本社 環境経営 目標	項目	単位	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
	二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減
	総排水量	m ³	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減
	廃棄物排出量	t	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減	1%削減
	OA用紙使用量の削減	枚	—	—	—	—	—
	グリーン購入の促進	品目	—	—	—	—	—
	コインランドリー新規店舗数	店	10	10	10	10	10
	環境配慮洗剤・ソフター販売数	個	400	500	550	550	550

※削減%数値は前年の実績に対する割合とする

※OA用紙の削減・グリーン購入の促進項目は活動のみとする

※二酸化炭素排出係数は0.541(kg-CO2/kWh)とする



■運用期間(R4)の実績

項目	単位	R3年 基準	R4年 目標	実績	基準 年度比	評価
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	36208	35846	32812	91.5%	○
購入電力	kWh	8027	7947	5633	70.9%	○
ガソリン使用量	L	4175	4133	4476	108.3%	×
軽油使用量	L	8597	8511	7512	88.3%	○
総排水量	m ³	84	83	84	101.0%	×
廃棄物排出量	t	5.9	5.84	8.5	145.5%	×
OA用紙使用量の削減	枚	現状把握	現状把握	現状把握	現状把握	△
グリーン購入の促進	品目	現状把握	現状把握	現状把握	現状把握	○
コインランドリー新規店舗数	店	10	10	10	-	○
環境配慮洗剤・ソフター販売数	個	725	550	509	-	×

* 事務用品のグリーン購入は略100%エコマーク品購入

※コインランドリー洗ベエ・コインランドリー洗太の電力・水・ガス使用の目標は設定せず、活動のみとする。

■社内での実績値と評価

コメント

購入電力：大幅な減少をしている。要因としては太陽光発電の導入のおかげだと推測される。社員一人ひとりの節電への意識は引き続き高めていく。

ガソリン・軽油使用量：エコドライブを徹底して、使用量を改善していく。また遠くの現場に行く際はできる限り台数を減らしていく。

総排水量：洗濯をまとめてやる・すすぎが終わったらすぐに水を止めるなど継続してやっていく。

廃棄物排出量：廃業するお客様が多く、スクラップ鉄が多く出た。今後はスクラップ鉄及び廃棄物で再利用できるものは積極的にする。

OA用紙の削減：両面印刷をするという意識をもっと高めていく。

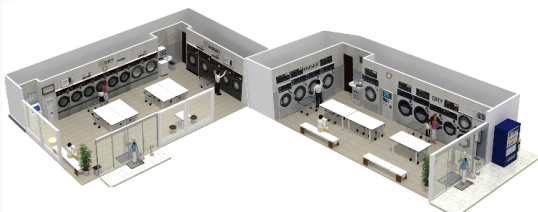
グリーン購入の促進：年々意識としても良くなっている。現状維持していく。

コインランドリー新規店舗数：目標件数通りに新規出店を行うことができた。

環境配慮洗剤・ソフター販売数：原材料の高騰による、別の商品に切り替えによって大幅に減った。お客様に環境に優しい洗剤や・ソフターの販売をしていることを周知させていくようにしたい。また、目標を見直してほしい。

作成日：R4.4.1

代表者 竹村 勝
EA事務局 竹村 俊克



運用の手順書

①二酸化炭素排出量の削減

■電力使用の削減

- ・エアコンの温度調節
- ・不要な照明の消灯
- ・待機電力の削減
- ・帰宅時は社内の照明の消灯の確認を徹底
- ・省電力型器具、省電力型機器への切り替え
- ・LED照明の導入

■燃料(ガソリン・軽油)使用量の削減

- ・全車両のエコドライブの徹底
- ・不要な荷物は積まない
- ・車両の定期点検を行う(空気圧やエンジンオイル、フィルター)
- ・車両のエアコンを控えめに
- ・更新時には燃費の良い車両を購入

②排水量の削減

- ・洗濯機の水の管理(すすぎが終わったらすぐに水を止める)
- ・水道を使い終わったら必ず蛇口を閉める
- ・水道配管からの水もれの点検
- ・雨水の利用の検討

③廃棄物排出量の削減

- ・廃棄物の分別をより強化する
- ・コピー用紙は両面印刷する
- ・古紙はメモ帳として利用する
- ・使い捨て製品の購入を抑える

④グリーン購入の推進

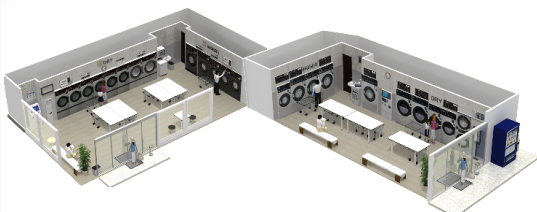
- ・事務用品や消耗品はエコマーク付のものを優先的に購入する

⑤販売や提供する製品及びサービスに関する事項

- ・再生材を多く使った店舗の設計、工事をする
- ・環境負荷の少ない工法を採用する
- ・販売時の包装や、梱包を簡易化していく
- ・環境に良い商品の販売に努める
- ・客先に環境情報を提案するようにする
- ・コインランドリーオーナー様にLED蛍光灯の導入を推奨していく
- ・コインランドリーのお客様にはマイバック持参を推進する

制定日： H23.11.1 代表者 竹村 勝

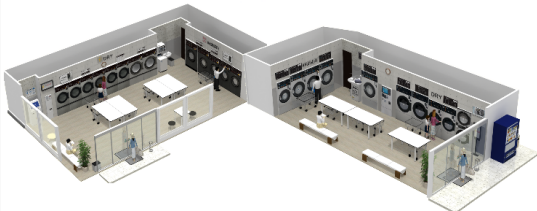
改訂日： R6.2.15 EA事務局竹村 俊克



環境経営計画実績表	作成日	代表印	EA 事務局印
	R4.4.1		

削減内容	項目	担当者	評価	備考	次年度活動
①二酸化炭素排出量の削減	・エアコンの温度調節	栗田	○	適切な温度に調整されていた。	継続
	・不要な照明の消灯	竹村	○	不要な照明は消すように心がけた。	継続
	・待機電力の削減	栗田	○	設定で待機電力を削減できるものは設定を変更するようにした。	継続
	・帰宅時は社内の照明の消灯の確認を徹底	全社員	×	一部の電気の消し忘れがあった。	改善
	・省電力型器具、省電力型機器への切り替え	会長	—	器具の購入自体がなかった。	継続
	・LED照明の導入	会長	—	買い換えなし。	継続
	・全車両のエコドライブの徹底	全社員	△	全体の意識をもっと高めていきたい。	継続
	・不要な荷物は積まない	全社員	×	不要な荷物を積みっぱなしにしてしまうことがあった。	改善
	・車両の定期点検を行う(空気圧やエンジンオイル、フィルター)	鈴木	○	定期的に点検していた。	継続
	・車両のエアコンを控えめに	全社員	△	全体の意識をもっと高めていきたい。	改善
・更新時には燃費の良い車両を購入	会長	—	買い換えなし。	継続	
②排水量の削減	・洗濯機の水の管理(すすぎが終わったらすぐに水を止める)	土屋	○	洗い・すすぎ終了後にはすぐに水を止めていた。	継続
	・水道を使い終わったら必ず蛇口を閉める	土屋	○	徹底して行われていた。	継続
	・水道配管からの水もれの点検	鈴木	○	水漏れがないことを確認、点検した。	継続
	・雨水の利用の検討	会長	△	導入にはいたらなかった。	改善
③廃棄物排出量の削減	・廃棄物の分別をより強化する	南	○	分別し、適切に処理されていた。	継続
	・コピー用紙は両面印刷する	竹村	×	両面印刷の意識は低かった。	改善
	・古紙はメモ帳として利用する	竹村	○	古紙ボックスの古紙をメモ帳として利用した。	継続
	・使い捨て製品の購入を抑える	栗田	△	意識を高めていきたい。	改善
④グリーン購入の推進	・事務用品や消耗品はエコマーク付のものを優先的に購入する	栗田	○	意識して購入している。	継続
⑤販売や提供する製品及びサービスに関する事項	・再生材を多く使った店舗の設計、工事をする	会長	○	積極的に再生材を利用できた。	継続
	・環境負荷の少ない工法を採用する	椿	○	環境負荷の少ないような工法ができていた。	継続
	・販売時の包装や、梱包を簡易化していく	全社員	△	最低限の範囲の梱包をこころがけていきたい。	継続
	・環境に良い商品の販売に努める	全社員	△	意識を高めていきたい。	継続
	・客先に環境情報を提案するようにする	全社員	△	客先には今より積極的に情報を提示していきたい。	継続
	・コインランドリーオーナー様にLED蛍光灯の導入を推奨していく	竹村	○	新築の全店舗に提案できた。	継続
	・コインランドリーのお客様にはマイバック持参を推進する	竹村	×	特にできなかった。	継続

△・×への対応	
・帰宅時は社内の照明の消灯の確認を徹底	消し忘れが多い照明の最終確認の担当者を決め、消し忘れを防止していく。
・不要な荷物は積まない	必要な荷物だけを積むようにすることができるように、工場の整理整頓をする。
・車両のエアコンを控えめに	夏場・冬場など使用する時期に、車内エアコンの適正温度への設定の啓発を行う。
・雨水の利用の検討	できるようなことから始めていきたいと思う。
・車両のエアコンを控えめに	エアコンを使用する時期に、啓発を行う。
・コピー用紙は両面印刷する	コピー機器近くに古紙ボックスを置き、テストのプリントなどは積極的に古紙を利用して両面印刷する。
・使い捨て製品の購入を抑える	購入者が意識し、使い捨て製品の購入を抑制する。
・販売時の包装や、梱包を簡易化していく	包装や梱包を行わなくても良いものは極力しない。または、捨てるようなものを利用する。
・環境に良い商品の販売に努める	積極的に環境に良い商品をすすめていく。
・客先に環境情報を提案するようにする	最新の環境活動レポートをHPで公表し、社内にも貼りだしていく。
・コインランドリーのお客様にはマイバック持参を推進する	POPを貼ってお客様に呼びかける。



環境関連法規の取りまとめ

作成日：R4.4.1 遵守評価日：R5.4.1

※法規制の管理部門は全てEA-21事務局がやる。

該当する設備・施設・活動内容	及び遵守状況チェック表	主要な法規制等	法基準値	当社の対応	備考	遵守状況	評価
一般廃棄物の排出 (不要コピー用紙・カタログ・新聞雑誌・生ごみ・紙くず・不燃ごみ等)	① 廃棄物の減量化 ② 廃棄物の適正処理の確保 ③ 回収又は処分は定められた業者に委託	① 廃棄物の減量化 ② 廃棄物の適正処理の確保 ③ 回収又は処分は定められた業者に委託		①②分別の徹底及び廃棄物削減活動の実施 ③指定業者に依頼		・産業廃棄物表に基づき実施状況確認 ・環境目標／活動計画管理表にて確認	○
産業廃棄物の排出 (金属屑・木屑・ダンボール・廃ブラ・廃潤滑油等)	・循環型社会形成推進基本法 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・静岡県環境基本条例 ・静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例 ・沼津市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	① 産業廃棄物の減量化 ② 産業廃棄物の適正処理の確保 ③ 産業廃棄物の保管基準の遵守 ④ 産業廃棄物の飛散・流出・地下浸水の防止 ⑤ 産業廃棄物の処理委託基準の遵守 ⑥ 産業廃棄物の委託契約書の記載事項の遵守 ⑦ 産業廃棄物管理表の管理義務 ⑧ マニユフェエトの交付の報告(知事へ) ⑨ 産業廃棄物処理業者の実地確認	保管場所表示60cm×60cm以上(種類・責任者等) 委託業者の許可証明書 廃棄物の種類・数量・運搬の最終目的地・最終処分の所在地、処分方法、処理能力、契約の有効期間・支払い額等 管理表交付日からB票及びD票は90日以内、E票は180日以内に受領する 毎年6月30日までに過去1年分を報告	①②分別の徹底及び廃棄物削減活動の実施 ③④産業廃棄物置場の表示版設置及び保管基準の遵守 ⑤委託業者の許可証明書の確認 ⑥委託契約書の記載内容確認 ⑦マニユフェエトの交付・保管・マニユフェエトの戻り状況確認 ⑧マニユフェエトの報告 ⑨実地状況を確認する		・産業廃棄物表に基づき実施状況確認 ・環境目標／活動計画管理表にて確認 ・表示版設置確認 ・保管基準の遵守確認 ・確認済み ・確認済み ・確認済み ・保管場所確認済み ・確認済み ・確認済み ・会社入口に許可書を設置 ・設置届出書確認 ・届出書確認 ・開設時に設置済み ・放流先は沼川放水路 ・実施中	○
基本業務	・建設業法	① 許可と5年ごとの更新		① 更新済み		・会社入口に許可書を設置	○
ガスの使用	・消防法	① 業務用ガス機器の設置の届出		① 開設時に届出済み		・設置届出書確認	○
コインランドリー	・環境衛生 ・水質汚濁法	① 開設時に保健所に届出 ① 特定施設の設置		① 開設時に届出済み ① グリストラップの設置 ② 放流先の確認		・届出書確認 ・開設時に設置済み ・放流先は沼川放水路	○
資材の販売	・労働安全衛生法 ・SDS制度	① 通知対象物質		① SDSを入手し客先に提出		・実施中	○
電力の使用	・省エネ法	① エネルギー使用の合理化推進		① 電力使用量の削減活動の実施		・環境活動計画に沿って実施中	○
各種物品の購入	・グリーン購入法	① 物品の購入、役務の提供を受ける場合はできる限り環境物品等を選択 ① 浄化槽の届出 ② 浄化槽の清掃・点検義務 ③ 法定検査	① 新設・変更・廃止後30日以内 ② 清掃・点検1回/3ヶ月 ③ 1回/年 水質検査 (指定検査機関)	① 環境配慮型製品の購入		・環境活動計画に沿って実施中	○
浄化槽の管理	・浄化槽法 ・静岡県浄化槽法施行規則	① 浄化槽の届出 ② 浄化槽の清掃・点検義務 ③ 法定検査	① 新設・変更・廃止後30日以内 ② 清掃・点検1回/3ヶ月 ③ 1回/年 水質検査 (指定検査機関)	① 届出書の確認 ② 委託業者の清掃・点検結果書確認 ③ 指定検査機関の検査結果書確認		・届出書確認 ・清掃・点検結果書確認 ・検査結果書確認	○
環境への配慮	・環境基本法 ・循環型社会形成推進基本法 ・環境配慮促進法	① 環境保全の基本理念を定める ② 循環型社会の形成を推進する ③ 環境情報の提供を行うように努める		① 環境理念の制定 ② 環境情報を提供		・環境理念を定めた ・環境情報を開示する ・環境情報を客先に提供する	○
フロン排出抑制法		① 3か月毎の点検		① 3か月毎の点検の実施		・確認済み	○

※法規制における違反・訴訟はなかった。

令和4年度 環境教育・訓練計画表／実施結果

代表印	
EA事務局印	

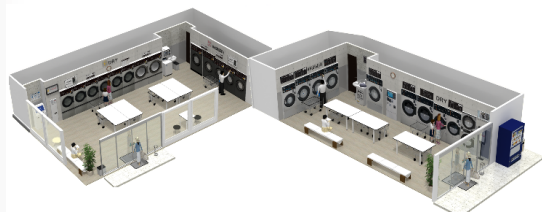
作成日: R4.4.1

NO	環境教育・訓練結果					実施結果			
	教育区分	教育の狙い	対象者	講師	予定日	教育・訓練内容	実施日	実施内容と結果	参加人数
1	一般環境教育	環境活動に対する問題点の是正・予防の認識の強化(第1回目)	全社員	EA-21 責任者	4月後半	・自社の環境活動をEA-21責任者が評価し問題点となっている点を是正していかなくてはならない点、予防していかなくてはならない点を全社員に認識させていく	R4.4.22	3カ月間の電気・水・ガソリンの使用量データを共有し、節電・節水またエコドライブの実施の呼びかけをした。	5人
2		環境活動に対する問題点の是正・予防の認識の強化(第2回目)	全社員	EA-21 責任者	7月後半	・自社の環境活動をEA-21責任者が評価し問題点となっている点を是正していかなくてはならない点、予防していかなくてはならない点を全社員に認識させていく	R4.7.22	3カ月間の電気・水・ガソリンの使用量データを共有し、節電・節水またエコドライブの実施の呼びかけをした。	4人
3		環境活動に対する問題点の是正・予防の認識の強化(第3回目)	全社員	EA-21 責任者	10月後半	・自社の環境活動をEA-21責任者が評価し問題点となっている点を是正していかなくてはならない点、予防していかなくてはならない点を全社員に認識させていく	R4.10.21	3カ月間の電気・水・ガソリンの使用量データを共有し、節電・節水またエコドライブの実施の呼びかけをした。	7人
4		環境活動に対する問題点の是正・予防の認識の強化(第4回目)	全社員	EA-21 責任者	1月後半	・自社の環境活動をEA-21責任者が評価し問題点となっている点を是正していかなくてはならない点、予防していかなくてはならない点を全社員に認識させていく	R5.1.20	3カ月間の電気・水・ガソリンの使用量データを共有し、節電・節水またエコドライブの実施の呼びかけをした。	6人
5	専門教育訓練	塗料缶・シンナー缶の転倒による有機溶剤の漏洩緊急時対応訓練	作業場担当者	EA-21 責任者	10月後半	・流出の防止訓練	R4.10.21	書面での説明	7人
6		コインランドリー火災発生時緊急対応訓練	EA-21責任者 コインランドリー担当者	EA-21 責任者	10月後半	・消火器取扱方法 ・連絡方法	R4.10.21	書面での説明	3人
7		本社作業場火災発生時緊急対応訓練	作業場担当者	EA-21 責任者	10月後半	・消火器取扱方法 ・連絡方法	R4.10.21	訓練の実施	3人
8									
9	専門教育								

代表者による全体の評価と見直し結果



見直し日時	R5.4.1	場所	本社事務所
参加者	代表者 竹村 勝 EA-21事務局 竹村 俊克		
インプット情報	情報内容・資料等	会長による指示事項	
①環境への負荷の自己チェック結果	自己(負荷)チェックシートで、R4年度の指標を全てチェックした後の取りまとめ表で説明。	データ内容を再度確認し資料を電子ファイルとしてしっかり保管しておいて下さい。	
②環境への取組の自己チェック結果	「環境への取組の自己チェック」シートにて説明。	データ内容を再度確認し資料を電子ファイルとしてしっかり保管しておいて下さい。	
③環境関連法規制等一覧表 遵守状況のチェック結果	「環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況チェック表」と、契約書、届出書、マニフェストにて説明。	契約書や届出書やマニフェストはしっかり保存してあるので、EA-21事務局が保管場所をしっかりと覚えておいて下さい。法規制の改正には注意して下さい。	
④環境目標の達成度	R4.4月～R5.3月の集計結果で説明。	評価が△:あまりできていない。項目や×:できていない項目に関しては改善されるようにして下さい。○:できている項目はこれからも○になるようにして下さい。	
⑤環境活動計画の実施状況	「環境活動計画実績表」にて説明。	評価が△:あまりできていない。項目や×:できていない項目に関しては改善されるようにして下さい。○:できている項目はこれからも○になるようにして下さい。	
⑥教育・訓練実施結果	昨年度の教育について「環境教育の実施結果」シートで再確認。	これからも教育や訓練を実施し、社員一人ひとりの環境への意識が高まるようにして下さい。	
⑦苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション結果	取組期間中においては苦情等はなかったので特になし。	苦情等あった際は「外部環境情報記録表」にしっかり記録を残して、報告を怠らないで下さい。	
⑧緊急事態の準備及び訓練結果	復習した「本社作業場火災発生時緊急対応訓練」について「緊急事態対応手順と訓練結果 詳細」シートで説明。	引き続き実施し、緊急事態の際に戸惑わないよう、冷静に対処できるようにして下さい。	
⑨問題点の是正・予防処置の状況	「環境活動計画に対する問題点の是正・予防 処置報告書」にて確認。	是正なくてはならないところは、対策を行い、次の議事を取りまとめた際は効果確認もしっかり行って下さい。	
⑩環境関連文章・記録の作成 整理状況(環境活動レポート含む)	まとめたものを電子ファイルで確認。	作成お疲れ様でした。これからもEA-21事務局として、取組の結果を確実に記録し、報告して下さい。	
指示事項等 に対する 決定・処置 内容	①環境方針	変更の要を認めず。 全社員にも当社の環境方針をしっかり理解させて下さい。	
	②環境目標	数値目標を変更しましたので、それに少しでも近づけるように努力して下さい。 全社員にも当社の環境目標をしっかり理解させて下さい。	
	③環境活動計画	変更の要を認めず。 全社員にも当社の環境活動計画をしっかり理解させて下さい。	
	④環境経営システム	今後も記録をとったら、必ず報告して下さい。	



【取り組み実績の例】

【ごみの分別（燃えるごみ・プラスチックごみ）】



【ごみの分別（ダンボールごみ）】



【産業廃棄物置き場】



【木材置き場】



【節電の呼びかけ】



【節水の呼びかけ】



【エアコンの設定温度の管理】



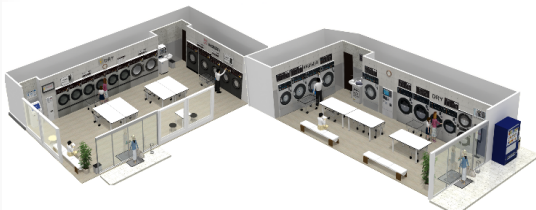
【古紙コーナー】



【コインランドリー店内においてエコバックを無料配布】



【事務所内においてLED蛍光灯の設置】



【複合型プリンターの導入】



【地域と協力し、衣類や布団の再利用】

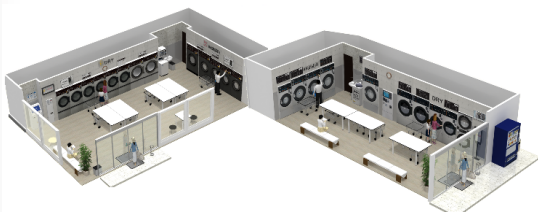


My Coin Laundry system

【太陽光発電の導入】



【節水型トイレの導入】





1. 緊急事態対応手順

緊急事態の想定	緊急事態の準備品	緊急事態対応手順: 制定日 H24.1.23
<p>本社作業場火災発生時 緊急対応訓練</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電話 ・消火器 ・毛布 ・タオル ・ハンカチ 	<p>「発見から通報、処置、非難方法」 初期消火の3原則(早く知らせる、早く消火する、早く逃げる)に従い指導訓練。</p> <p>①発見したら早く知らせる ・火災が発生したらまず小さな火でも119番に通報する。 ・発見者は消火を、通報は近くの人に頼む。</p> <p>②早く消火する ・出火から3分以内が消火できる限度なので、3分以内にできる消火処置を行う。 ・作業場の消火器を使い火を消すか、毛布でおおうなど手近なものを活用して消火も試みる。</p> <p>【消火器の使い方】 消火器を火元まで持っていきます。(およそ3~5m) 安全ピンに指をかけ、上に引き抜きます。 ホースをはずして、火元に向けます。 レバーを強く握って噴射します。 ・風上に回り、できるだけ火炎や煙をさけながら消す。 ・やや腰を落とし、姿勢をなるべく低くかまえる。 ・燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。</p> <p>③早く逃げる ・天井に火が燃え移ったら、躊躇せずに避難する。 ・避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。</p> <p>【避難時の注意事項】 火災では炎と同様に、煙も危険です。煙は有毒ガスを含み、想像以上の速さで広がります。 濡れたタオルやハンカチで鼻や口を押さえ、姿勢を低くして速やかに避難しましょう。</p>

2. 訓練結果

※訓練を実施した際は、下記にその時の実施状況写真を2~3枚添付すること。

訓練実施日・時間	R4.10.21 11:00~11:40	
		<p>消火器の使い方の指導をしました。</p> <p>【訓練に参加した人の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事発生時どのようにしたら良いか勉強になりました。 ・訓練をしておくことで緊急事態に及んでも冷静に対処できるような気がする。

3. テスト・訓練の効果確認・・・手順書は有効性有と判断いたしました。